

『自己効力感』を用いた研究をはじめよう」 開催レポート

2019年8月24日に、本委員会企画の講習会『自己効力感』を用いた研究をはじめよう」が開催されました。

委員会メンバーである、辻川先生、浦上先生が講師となり、研究という行為および自己効力感概念についての基礎的な説明、自己効力感を独立変数とする研究の概要、自己効力感を従属変数とする研究の概要という、大きく3つのレクチャーがありました。その後、それぞれの講師を囲む2グループで、質疑やディスカッションの時間が設けられました。

「研究をはじめよう」というタイトルのもと、今回は自己効力感という概念を用いて、研究の型(かた)についての基礎的知識を提供することを目的としました。

いただいた感想から、この目的にそった講習会にできたように思います。そのいくつかをご紹介します。



- ・ 短い時間に重要なエッセンスのつまった大変有意義な講習会で、とても勉強になりました。
- ・ 研究の原理や深めて追求していくことの魅力をあらためて感じました。
- ・ 自分の行っている指導・支援の検証に際し、その指導・支援に論理的説明が必須であることなど、因果関係を明らかにする枠組みを、今後の研究にいかしたいと思いました。

欠席者もあって12名での開催となりましたが、これくらいの人数が適切という声もありました。また、政策の研究やエスノグラフィを用いた研究などについても取り上げてほしいという要望もありました。委員会において検討させていただき、以後の活動に反映させたいと考えています。



今後も研究推進にかかる企画を検討、実施していきます。機会がありましたら、どうぞご参加ください。

なお当日の資料は、加筆修正を行い、後日このwebにて公開を予定しております。

日本キャリア教育学会研究推進委員会